

「人文学はじぶん学」：「じぶん」を探究する 5 コース

1. 人文総合コース

○日本文化の基礎的な知識を修得し、読解力や問題解決能力の育成を目指す。さらに自分を言語化する力を磨くとともに、自己表現力や人間力を高める。

自分の「好き」をどんな言葉で語るのか？ 自己表現のためには自身を言語化する「ことば」を持たなくてはなりません。それには「人文学」＝「じぶん学」が基本となります。

本コースは日本文化の基礎的な知識を身に付けるところから始め、読解力や社会で求められる問題解決力を高める学びを目指します。さらに「ことば」を用いた実践的な活動を通して、自己表現力を磨きます。

自己表現するためには多様な学問分野に触れることが重要です。人文学科目（文学・歴史・思想・哲学など）を中心としつつ、様々な分野を学修することで、興味・関心を広げ、〈じぶん〉探究につなげていきます。こうした学びを基軸として、異文化理解に必須の「自文化理解」を深め、他者との調和をめざしつつ、〈じぶん〉自身をブランディングする力を身につけます。将来的には「人」に関わる職業を目指します。

2. グローバル英語コース

○「英語を」学ぶではなく「英語で」学んで発信する。英語をツールとして、世界で通用する「じぶん」になる。

コミュニケーションツールとしての「英語」を、基盤教育ステージ、4 技能習得ステージ、Advanced English ステージの 3 つのステージで楽しみながら学びます。

基盤教育ステージでは、レベル別クラスで会話を中心に output する楽しさを体験。4 技能習得ステージでは、レベルに適した内容とペースで Listening（聞く）、Speaking（話す）、Reading（読む）、Writing（書く）、の 4 つの力を養います。

Advanced English ステージでは、身につけた英語力を活かして、「英語で」社会的な事柄、他国の文化などについて深く学びます。

2 年次にフィリピンのセブ島での 4 週間の語学研修に参加して、英語力を磨くことができます。

3. 中国語・中国文化コース

○ 多角的な視野と知見を身につけ、初習者でも既習者でも中国語が「じぶん」の武器になる。

中国語の能力だけでなく中国社会に関する知見を獲得できるように設計されています。すでに入学前に一定の中国語力を有している学生は、一部の基礎的な必修科目の履修が免除され、自身の中国語力に合せて、文化的な知見を深めつつ、さらに高度な専門的な言語運用力を向上させていくことができます。

1 年次から履修可能な短期留学プログラムをはじめ、長期留学プログラムも充実しており、現地留学により活きた中国語の獲得を推奨します。オンラインを活用した現地学生との交流学修を通して、語学力や文化知見を向上させることも可能です。

また、HSK（漢語水平考試）の上位級取得を学修工程の一部として明瞭化することで（講義配当と取得目安：2 年次までに 4 級、3 年次に HSK5 級、4 年次春期までに 6 級）、就職活動や進学に直結する学びを担保しています。

＜卒業後の進路＞

HSK5 級、6 級の取得によって、下記のような資格取得や登録制度において優遇されます。こうした資格を活かして、ホテル・空港・鉄道・旅行社などの観光業関係、公務員、商社など、様々な

業態における人材需要に応えることができます。

- ・ 法廷通訳人登録制度：HSK6 級取得者。法廷傍聴、面接、登録、研修を経る必要有。
- ・ 医療通訳士登録制度：研修を経て、HSK6 級取得者は 1 級、HSK5 級取得者は 2 級で登録。
- ・ 全国通訳案内士：HSK6 級・スコア 180 点以上の場合、中国語筆記試験の受験免除。
- ・ 地方通訳案内士：中国語コミュニケーションに支障のない水準。地域の観光事業などに貢献したい人のための登録制度。研修を経て登録。

4. 教員養成コース

○ 人文学部の教員養成課程だからこそその強みで、教員採用試験の合格だけでなく、学校現場で活躍できる教員養成を目指す。

「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適化された学び」といった現在の学校教育で求められている事柄を意識しながら、グループワークや個別指導など、小規模の大学だからこそできる学生一人ひとりに合わせたサポートが充実しています。普段から学生と密なコミュニケーションを取るほか、担当教職員が毎月情報共有をしたうえで半期に一度面談を実施しています。長期休暇中の教職対策講座（補講）や、教員採用試験直前には元校長や面接官経験のある教職員によりリアルな対策指導を実施し、現役合格をサポートしています。

また、1 年次より小学校体験活動や指導案作成に基づく模擬授業演習など実際の教育現場（フィールド）での経験やロールプレイングを通した学びを重点的にを行い、学校現場で求められる実践力と指導力を身につけ、教員採用試験の合格だけでなく、学校現場で活躍できる教員養成を目指します。

さらに、大学に併設する「学び合う学び研究所」でのセミナーを通して、小中高の現職教員や卒業生、学生が共に「学び合い」、地域コミュニティの中での学習拠点としての愛知文教大学の教職課程を目指します。

5. 国際日本コース

○ 日本語運用能力修得のみならず、本学での学修・体験を通じて真の知日派を育成する。

日本語能力試験 N2 以上の取得を基本とし、日本語で考え、日本語で発信する科目を多く設けています。特に、日本文化に触れられる豊富な授業内容は、他の大学では得られない本学ならではの特長と言えます。また、N2 未取得者に対しては対策講座や補習を行い、早期合格に向けてサポートしています。

グローバル教育センターが催行する地域児童との交流イベントや、年に 1、2 回のバス研修旅行は、有意義な体験機会として満足度の高い企画となっています。

卒業後、就職希望者は全て日本国内での就職を実現させており、彼らの勤勉な就労態度は受け入れ企業でも高評価をいただいています。

教務関係

1 学期

1. セメスター制

本学はセメスター（学期）制を採用しており、1年は春期・秋期の2セメスターに分かれています。本学の科目は原則として、1セメスター15週＋定期試験で完結します。ただし科目の中には、休暇中に開講されるもの（集中講義科目）もあります。

2. クォーター制

一部の科目で効率よく学修成果をあげるために、各セメスターの前半のみ、または後半のみに集中的に1セメスター分（15コマ）の学修を行なうクォーター制も導入しています。詳細は2-19を参照してください。また対象科目は2-29（備考）を参照してください。

2 シラバス（授業計画書）・オフィスアワー・年間行事予定（アカデミックカレンダー）

(1) シラバス（授業計画書）

シラバス（授業計画書）には、開講される授業科目について、授業の概要と目的・事前事後学修・授業の内容・授業形態・成績評価方法・テキスト・参考資料文献等が記載されています。履修登録前に確認してください。学生用ポータルサイトでシラバス（授業計画書）の検索・閲覧ができます。

(2) オフィスアワー

本学では、教員が研究室に在室する「オフィスアワー」を設けています。詳細は学生用ポータルサイトに掲載されていますので、授業についての質問や専任教員へ相談したい場合に利用してください。

(3) 年間行事予定について

学生用ポータルサイトに掲載されているアカデミックカレンダーで確認してください。

3 授業

授業は春期と秋期の2つのセメスター（学期）に分かれています。授業が行なわれる期間は、春期4月から7月下旬、秋期9月下旬から1月下旬です。ただし、集中講義は除きます。詳細はアカデミックカレンダーで確認してください。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9 : 20～10 : 50	11 : 00～12 : 30	13 : 20～14 : 50	15 : 00～16 : 30	16 : 40～18 : 10

4 授業形態

授業形態	内容
通常授業	各セメスターの授業期間中、毎週1回指定の曜日・時限に開講
集中講義 [一般・社会人]	長期休暇中など指定の期間に、集中的に1セメスター分（15コマ）の学修を行なう講義
クォーター科目 [一般・社会人]	各セメスターの前半のみ、または後半のみに集中的に1セメスター分（15コマ）の学修を行なう科目。週2回開講。

5 単位と学修時間

大学における授業はその学修量を「単位」という言葉で表します。それぞれの授業は45時間の学修＝1単位として計算します。学修時間は教室内での授業時間の他に、教室外（図書館、自宅、下宿等）で行う予習復習等の時間も含んで計算されています。卒業のため、また資格取得のためには、それぞれに定められた「単位数」分の学修が必要となります。

本学では、授業時間外に必要な学修を考え、以下のとおり単位数を計算しています。

単位認定の根拠となる学修時間は、1 時間の授業に対し 2 時間の自学自習です。指定教科書による自学自習と授業の完全履修を求めます。完全履修とは、授業に皆出席し、定期試験を受験することです。

授業区分	単位数	教室内	教室外	回数	学修時間
講義・演習	2 単位	2 時間	4 時間	15 回	90 時間
実習・演習	1 単位	2 時間	1 時間	15 回	45 時間

※ 90 分授業は 2 時限 2 時間として計算しています。

6 休講・補講

授業はアカデミックカレンダーに従い 15 週を完全実施しますが、やむを得ない事情により休講となった場合は補講を行ないます。補講はアカデミックカレンダーに記された補講期間のほか、通常授業期間の 5 時限に実施されることもあります。休講・補講についてのお知らせは、学生用ポータルサイトで確認してください。

7 試験

試験には、定期試験、追試験、再試験があります。各試験の実施概要は次の通りです。

1. 定期試験

各セメスター（学期）末にアカデミックカレンダーの日程に基づいて実施されます。

2. 追試験

定期試験を忌引、疾病、列車等の遅延、事故等で欠席した学生を対象として、追試験受験を許可することがあります。欠席理由を証明する公的な書類（医師の診断書等）がなければ、受験は認められません。指定期間に教務課で公的な書類を添えて受験申請してください。

3. 再試験

定期試験及び追試験の結果、不合格になった者のうち、成績評価が D（40 点以上 60 点未満）である場合、当該学期において再試験を受けることができます。再試験を希望する者は、所定の期日までに「再試験願」に再試験受験料を添えて教務課に提出してください。

8 成績評価と GPA

(1) 成績評価と単位

成績評価と単位認定は、定期試験の評価に加えて、日頃の受講態度（平常点）、出席状況、レポート等課題の内容を総合して判断します。評価は、各科目のシラバス（授業科目概要）に記載された成績評価基準によります。D、E および X と評価された場合には単位認定されません。

グレーディング	判定基準
S (4)	評価点 90 点以上、その科目において要求されている特に優秀にして創造性に富む成績
A (3)	評価点 80 点以上 89 点以下、その科目において要求されている優秀な成績
B (2)	評価点 70 点以上 79 点以下、ほぼ満足すべき成績
C (1)	評価点 60 点以上 69 点以下、合格と認められる最低水準の成績
D (0)	40 点以上 60 点未満、合格とは認められない成績だが、再試験の受験は可能
E (0)	40 点未満、合格とは認められない成績。再試験の受験は不可。
X (0)	1 セメスターの授業 15 回のうち 4 回以上欠席した場合および試験を受験しなかった場合

() の数字はグレーディングポイント

また、「合格」「不合格」のみで成績評価される科目（シラバスの「成績評価の方法と基準」参照）があります。「合格」の場合、単位が認定されます。

(2) GPA (Grade Point Average) について

① G P A の目的

G P A (Grade Point Average = 評価点平均) は「履修科目単位 1 単位あたりの成績平均」です。これにより「学修の成果」を数値化して把握することが可能となります。G P A は、アカデミアゼミの所属 (2-23)、奨学金給付や表彰者決定などの選考基準になります。

② 算出方法

次の計算式により単位あたり平均を算出します。

$$G P A = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得た評価点})] \text{ の合計}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{ の合計}}$$

履修登録しながら受講しなかった、あるいは途中で受講をやめた場合も X 評価となり、G P A が低下します。履修登録の際には、この点に十分注意してください。また、履修を取りやめる場合は、必ず所定の期間に手続きを行なってください (2-17 参照)。

③ G P A に算入されない科目

次の科目の成績は G P A に算入しません。

分 野	科 目 名
体育科目	体育実技 A、体育実技 B、体育実技 C、体育実技 D、体育実技 E、体育実技 F
書道科目	書道 A、書道 B
合否判定科目	成績評価の方法が「合格」「不合格」判定による科目
教員免許取得に関する科目	開設科目一覧に「卒業要件に含めず」と記載された科目
認定科目	他大学等で修得し、本学で単位認定された科目

9 不正行為

試験で不正行為を行った場合の処置は次のとおりです。

- ・愛知文教大学人文学部試験規程第 5 条に基づき、その期の試験の科目は全て不合格とします。なお、定期試験 (全学一斉で行う各期末試験) とは別に教員により行われる中間試験や授業期間内試験などにおいて不正が行われた場合も処分の対象となります。
- ・不正行為を行った場合は、学則第 52 条に基づき、退学、停学などの懲戒処分を受けることがあります。
- ・学籍簿に不正行為を記載し、不正行為者として掲示により公表します。
- ・教学部の指導を受け、顛末書および反省文を提出します。
- ・奨学金や住宅費助成など大学からの支給金はすべて停止します。

10 成績評価調査制度

成績評価が間違っていると思われる十分な理由がある場合に、成績評価に間違いがないか、科目担当教員に確認を求めることができます。ただし、成績の再考を求めるものではありません。調査を希望する場合は指定期間内に次の手続きをしてください。

- (1) 調査申請受付期間：成績発表日から 5 日以内 (休日・祝日を除く平日 9:00~17:00)
- (2) 申請方法：教務課で「成績評価に関する質問書」を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。

11 進級要件

3年次に進級するためには、以下の要件を満たさなければいけません。

- (1) 休学期間を除き、入学後2年間(4セメスター)在学していること。
- (2) 入学後2年間(4セメスター)、2年次編入学生の場合は入学後1年間(2セメスター)の通算GPAが0.40以上であること。

12 卒業要件

[一般・社会人]

- (1) 4年以上在学すること

- (2) 卒業所要単位数

科目群	卒業所要単位数
教養教育科目群	50 単位以上
うち必修科目	34 単位
選択必修科目	4 単位以上
専門教育科目群	60 単位以上
うち共通必修科目	8 単位
共通選択必修科目	6 単位以上
主専攻コース必修／選択必修科目	
グローバル英語コース	コース選択必修 20 単位以上
中国語・中国文化コース	コース必修 28 単位／コース選択必修 8 単位以上
教員養成コース	コース選択必修 20 単位以上
人文総合コース	コース必修 6 単位／コース選択必修 18 単位以上
合計	124 単位以上

- (3) 必修科目および選択必修科目

開設科目一覧に記載の必修科目および選択必修科目のすべてを修得すること。

- (4) 卒業の要件による科目の分類 <2-29 開設科目一覧 必修・選択区分欄参照>

分類	規定
必修科目	必ず単位修得しなければならない科目
共通選択必修科目	いくつかの科目の中から選択して卒業要件上の必要単位数を必ず修得しなければならない科目
主専攻選択必修科目	登録した主専攻コースの必修科目群から選択して卒業要件上の必要単位数を修得しなければならない科目

選択科目	適宜選択して単位修得する科目
必履修	単位修得の必要はないが、修了試験を受験しなければならない科目

[国際日本コース]

(1) 4年以上在学すること

(2) 卒業所要単位数

科目群	卒業所要単位数
教養教育科目群	50 単位以上
うち必修科目	14 単位
専門教育科目群	60 単位以上
うち必修科目	32 単位
選択必修科目	20 単位以上
合計	124 単位以上

(3) 必修科目および選択必修科目

開設科目一覧に記載の必修科目および選択必修科目のすべてを修得すること。

(4) 卒業の要件による科目の分類 <2-29 開設科目一覧 必修・選択区分欄参照>

分類	規定
必修科目	必ず単位修得しなければならない科目
選択科目	適宜選択して単位修得する科目
選択必修科目	いくつかの科目の中から選択して卒業要件上の必要単位数を必ず修得しなければならない科目

13 履修登録・修正・取消

- 履修登録は指定の履修登録期間、履修登録変更期間に行ってください。期間内であれば何度でも変更可能です。
- 履修登録は、学生用ポータルサイトから行ってください。ただし、他大学での開講科目については、教務課窓口で登録してください。
- 履修登録の方法は、オリエンテーションおよび各セメスター終了後保護者宛に送付する資料で説明します。
- 履修登録変更期間には、履修登録した科目の変更、取消、追加が可能です。
- 授業科目によっては、教育環境の充実、教室定員の都合により、受講定員を設定する場合があります。応募者が定員を超えた場合は、抽選となります。
- 履修するクラスを指定する場合があります。クラスが指定されている場合、それを変更することはできません。
- 履修登録後、登録確認期間中に必ず登録結果を確認してください。登録されていない科目は履修することはできません。確認期間後は、確認済みとみなし修正は受け付けませんので注意してください。

14 必修科目・必修修科目

必修科目を指定セメスター（学期）ないしは年次に単位修得しなかった場合、その後の履修に大きな影響が出ます。必ず指定セメスターないしは年次に単位修得してください。指定セメスターないしは年次に単位修得できなかった場合には、次年度以降卒業年次までに履修してください。

必修修科目は、単位修得できなくても卒業等に影響はありませんが、必ず指定セメスターないしは年次に履修して修了試験を受験してください。

15 履修条件・履修制限科目

科目によっては、適正な人数やレベルを設定して授業の水準を保つ必要があります。そのため、特定の科目の単位修得や、一定の語学レベルに達していることなど履修の条件がある科目があります。また、履修制限科目とは、試験その他の手段で履修水準に達していないと判断された場合は履修不可となる科目です。履修制限については、シラバスに記載されています。履修登録の際には必ずシラバスを確認してください。

16 履修順位について

表記区分	履修順位等の規定
科目名称にⅠ、Ⅱ、Ⅲとローマ数字がつく科目	原則としてⅠ、Ⅱ、Ⅲ・・・の順に履修してください。
科目名称にA～Fとアルファベットがつく科目	履修の順番はありません。ただし、必修科目ではAを先に履修し、単位修得してください。
時間割およびシラバスにおいて科目名称に1、2、3・・・という算用数字がついている科目 〔一般・社会人〕	これらは同じ科目で、算用数字はクラスを表します。 同一科目ですので、複数クラスを履修することや単位修得することはできません。 例) 「Basic English 1」と「Basic English 2」は同じ科目

17 履修登録単位の上限

適切に授業科目を履修するため、セメスターごとの履修登録可能単位数は22単位を上限としています。ただし、下記の科目は履修登録上限に含めません。また、入学後の通算GPAが3.20以上の場合は、次学期の履修登録可能単位数の上限を26単位とします。なお、その場合でも各年次の履修登録単位数が50単位を超えてはいけません。

履修登録上限に含まない科目一覧
インターンシップ諸科目、ホスピタリティ実習諸科目、短期研修諸科目、e-Global Communication、卒業論文、「卒業要件に含めず」と記載された科目（2-29 開設科目一覧〔一般・社会人〕備考参照）

18 同一科目の複数回履修について

単位を修得した科目を再び履修および単位修得することはできません。単位を修得できなかった科目は、次年度以降再び履修することができます。

19 「アカデミアゼミ」「卒業研究」「卒業論文」について

「アカデミアゼミ」（3、4年次対象）は、研究したいテーマについての知識を身につけ、研究を進めていくためのゼミナールです。「アカデミアゼミ」では、専任教員が担当するゼミナールに所属し、4セメスターかけて研究を行います。希望者が定員を超える場合は選抜となります。選抜はGPAによって行います。希望するゼミナールに所属するために2年次までの学修状況や成績が大変重要です。登録は2年次秋期に行な

います。なお、3年次に進級しない学生はアカデミアゼミを履修することができません(2-14 進級要件参照)。

「アカデミアゼミ」では「卒業研究」および「卒業論文」の作成を行ないます（「卒業論文」は希望者で許可が得られた場合のみ）。卒業研究や卒業論文の作成は、知識を得るだけでなく論理的思考や独創性などを養うものであり、大学での学びの成果を形として残すことができます。就職活動において卒業研究や卒業論文についての質問がある場合もあります。なお、「卒業論文」は卒業必修ではありませんが、大学院に進学する場合には必要となりますので作成してください。

アカデミアゼミは、以下のスケジュールで行われます。

- ① アカデミアゼミ A では、研究分野の概要や基礎的な知識、研究方法を学びます。学期末にレポートを提出します。
- ② アカデミアゼミ B では、卒業研究の計画やテーマを決定していきます。発表会で発表を行ない、学期末にレポートを提出します。
- ③ アカデミアゼミ C では 4 月に卒業研究の計画書を提出し、それにもとづいて研究を進めていきます。学期末にレポートを提出します。
- ④ アカデミアゼミ D では研究を完成させ、発表会で最終発表を行ない、学期末に最終レポート（卒業研究）を提出します。
- ⑤ 卒業研究をさらに本格的に論文にしたい場合は、卒業論文を作成することもできます。卒業論文を執筆する場合は、アカデミアゼミ C 開講後、テーマを提出します（第 4 ゼミ期にテーマ変更、取り下げ可）。

20 入学前に取得した資格の単位認定

本学が指定する資格を入学前 3 年間に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。希望する場合は、申請書に必要事項を記入し、合格証など学修の成果を証明する公的な書類を添えて入学した学期の通常授業最終日までに事務局教務課に届け出てください。ただし、この制度は 2 年次・3 年次・4 年次転・編入学生、交換留学生及び社会人学生には適用されません。

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名	認定 単位数	認定級位
ワードプロセッサ	日本語ワープロ検定 (文部科学省後援)	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
情報技術	情報処理技能検定 (表計算) (文部科学省後援)	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
英語 ⁽¹⁾	全商英語検定	公益財団法人 全国商業高等学校協会	教養教育科目群	2	2 級以上
	実用英語技能検定 (文部科学省後援)	公益財団法人 日本英語検定協会	専門教育科目群	4	1 級
			教養教育科目群	3 2 2	準 1 級 2 級 準 2 級
中国語 ⁽²⁾	中国語検定	一般財団法人 日本中国語検定協会	検定対策中国語講座 HSK2 級	2	準 4 級以上
	HSK (漢語水平考試)	一般社団法人 日本青少年育成協会			2 級以上
漢字	日本漢字能力検定	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	教養教育科目群	2 2 1 1	1 級 準 1 級 2 級 準 2 級
文書デザイン	文書デザイン検定 (文部科学省後援)	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
マナー	マナー検定	全日本マナー検定協会	教養教育科目群	1	初級以上
日本語	日本語能力試験 (JLPT)	国際交流基金・ 日本国際教育支援協会	日本語精読入門 I	2	N2 以上

備考：(1) 「全商英語検定」と「実用英語技能検定」の両方を取得している場合は、単位の多い方のみを認定し、4 単位を最大とする。

(2) 「中国語検定」と「HSK」の両方を取得している場合も 2 単位を最大とする。

21 在学中に取得した資格の単位認定

本学が指定する資格を在学中に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。希望する場合は、申請書に必要事項を記入し、合格証など学修の成果を証明する公的な書類を添えて学期の再試験終了日までに事務局教務課に届け出てください。また、この制度は交換留学生には適用されません。

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名	認定 単位数	認定級位
ワード プロセッサ	日本語ワープロ検定 (文部科学省後援)	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
情報技術	情報処理技能検定 (表計算) (文部科学省後援)	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
英語 (1 abc)	実用英語技能検定 (文部科学省後援)	公益財団法人 日本英語検定協会	専門教育科目群 (1 c)	4	1 級 準 1 級
				3	
	TOEIC	国際ビジネス コミュニケーション協会	専門教育科目群 (1 c)	4 3 2	①860 以上 ②730 以上 ③550 以上
中国語 (3 abc)	中国語検定	一般財団法人 日本中国語検定協会	専門教育科目群 (2 b)	4	準 1・1 級 2 級 3 級 4 級
				3	
				2	
				1	
	HSK (漢語水平考試)	一般社団法人 日本青少年育成協会	専門教育科目群 (2 b)	4	6 級 5 級 4 級 3 級
				3	
				2	
				1	
漢字	日本漢字能力検定	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	教養教育科目群	2	1 級 準 1 級 2 級 準 2 級
				2	
				1	
				1	
文書 デザイン	文書デザイン検定 (文部科学省後援)	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
マナー	マナー検定	全日本マナー検定協会	教養教育科目群	1	初級以上
日本語	日本語能力試験 (JLPT)	国際交流基金・ 日本国際教育支援協会	専門教育科目群 (3 a)	2	N2
			専門教育科目群 (3 b)	2	N1
時事問題 (4)	ニュース時事能力検定	日本ニュース時事能力 検定協会	教養教育科目群	4	1 級
			教養教育科目群	2	2 級

備考：(1 a) 単位付与対象は一般学生とする。「実用英語技能検定」と TOEIC はどちらかのみの認定とする。

(1 b) 英検、TOEIC とも 2 回までの認定とする。また TOEIC の①～③までの基準はそれぞれ 1 回のみの認定とする。

(1 c) グローバル英語コース主専攻の学生は「選択必修科目群」での認定とする。

(2 a) 単位付与対象は一般学生とする。「中国語検定」と「HSK」の両方を取得している場合、同等級（「中国語検定」＝「HSK」：4 級＝3 級、3 級＝4 級、2 級＝5 級、準 1 級・1 級＝6 級）のどちらか一方のみとする。

(2 b) 中検、HSK とも 2 回までの認定とする。また、準 1 級・1 級はどちらか 1 回のみの認定とする。

(2 c) 中国語・中国文化コースの学生は「選択必修科目群」での認定とする。

(3 a) 国際日本コース「専門教育科目群」における「選択必修科目群」の「検定試験 N1 対策講座」を除く「日本語分野」での認定とする。

(3 b) 国際日本コース「専門教育科目群」における「選択必修科目群」の「日本語分野」での認定とする。

(4) 単位付与対象は一般学生とする。「1 級」「2 級」のどちらか 1 回のみの認定とする。

22 インターンシップ

インターンシップとは、学生が在学中に将来のキャリア（職業）に関連した就業体験を行うことであり、

本学では授業科目のひとつとして組み込み、実習時間と内容を評価して、規程に基づき単位を認定しています。その目的は将来のキャリア（職業）を考える機会をつくり、職業観・就労意識を醸成することです。また自分自身の適性、持ち味を確認し、異世代とのコミュニケーションを通して社会や企業に対する理解を深める機会でもあります。キャリアセンターでは、ガイダンスを開催しインターンシップへの参加を呼び掛けるとともに、実習先企業の紹介・エントリー手続きの支援および事前研修を開催しています。また終了後にはインターンシップ参加者の体験・成果発表を行う機会を設けています。実際の就職活動までにぜひインターンシップに参加してください。

23 愛知学長懇話会単位互換事業

愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟する他の大学で開講される科目を履修し、修得した単位を本学の単位として認定する制度です。詳しくは事務局教務課で尋ねてください。

25 開設科目一覧

【一般・社会人】

1. 教養教育科目群：必修科目 34 単位、選択必修科目 4 単位以上を含め 50 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
共通基盤分野	文章表現法 A（スタディスキル）	BAS101	2	必修	
	文章表現法 B	BAS102	2	必修	
	異文化コミュニケーション基礎論	BAS103	2	選択必修	異文化コミュニケーション基礎論と多文化共生基礎論の 2 科目から 1 科目以上修得
	多文化共生基礎論	BAS104	2	選択必修	異文化コミュニケーション基礎論と多文化共生基礎論の 2 科目から 1 科目以上修得
	コンピュータリテラシー	BAS105	2	必修	
	ことばとデータサイエンス入門	BAS106	2	必修	
	コンピュータプレゼンテーション	BAS201	2	必修	
	ことばと人文学	BAS202	2	必修	
	ことばと多文化教育	BAS203	2	選択必修	令和 3 年度以降の入学者はこの中から 1 科目以上修得
	ことばとビジュアル	BAS204	2	選択必修	
	ことばとネゴシエーション	BAS205	2	選択必修	
人間を探究する分野	経済学入門	HMN101	2	選択	
	経営学入門	HMN102	2	選択	
	食物・栄養学入門	HMN103	2	選択	
	日本国憲法	HMN104	2	選択	
	体育実技 A	HMN105	1	選択	
	体育実技 B	HMN106	1	選択	
	体育実技 C	HMN107	1	選択	
	体育実技 D	HMN108	1	選択	
	体育実技 E	HMN109	1	選択	
	体育実技 F	HMN110	1	選択	
	世界宗教の基礎知識	HMN201	2	選択	
	音楽と社会	HMN202	2	選択	
	マーケティングと消費者行動	HMN203	2	選択	
	心理学入門	HMN204	2	選択	
	コミュニケーション心理学	HMN205	2	選択	
	社会心理学	HMN206	2	選択	
	社会学	HMN207	2	選択	
	ジェンダー論	HMN208	2	選択	
	社会福祉論	HMN209	2	選択	
	マルチメディアと社会 A	HMN210	2	選択	
	マルチメディアと社会 B	HMN211	2	選択	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
多文化共生を探究する分野	中国思想と世界	MUL101	2	選択	
	中国地域研究	MUL102	2	選択	
	短期研修 A	MUL103	2	選択	大学主催の研修を除き、事前に学修（研修）内容の審査有り
	短期研修 B	MUL104	3	選択	
	短期研修 C	MUL105	4	選択	
	東南アジアの歴史と文化 A	MUL201	2	選択	
	東南アジアの歴史と文化 B	MUL202	2	選択	
	インドの歴史と文化	MUL203	2	選択	
	アメリカ史	MUL204	2	選択	
	ヨーロッパ史	MUL205	2	選択	
	韓国の言語と文化	MUL206	2	選択	旧「韓国語Ⅲ」（令和2年度まで） 「韓国語入門」（令和2年度までの入学者は「韓国語Ⅰ」）単位未修得者は履修不可
	韓国の言語と社会	MUL207	2	選択	旧「韓国語Ⅳ」（令和2年度まで） 「韓国語入門」（令和2年度までの入学者は「韓国語Ⅰ」）単位未修得者は履修不可
	書道 B	MUL208	1	選択	
	茶道と日本文化	MUL209	2	選択	
	日本語音声学	MUL210	2	選択	
	e-Global Communication	MUL211	2	選択	
	インド仏教史	MUL301	2	選択	
	観光学	MUL302	2	選択	
	観光文化論	MUL303	2	選択	
基礎語学力養成分野	Basic English	FLS101	2	必修	
	Conversation	FLS102	2	必修	
	Introduction to TOEIC	FLS103	2	必修	
	入門中国語 A	FLS104	2	必修	HSK2 級以上合格者は履修不可
	入門中国語 B	FLS105	2	必修	
	入門中国語発音・会話 A	FLS106	1	必修	
	入門中国語発音・会話 B	FLS107	1	必修	
	検定試験対策中国語講座（HSK2 級）	FLS108	2	選択	HSK2 級以上合格者は履修不可
	教養中国語 A	FLS109	2	選択	中国語母語話者履修不可
	教養中国語 B	FLS110	2	選択	
	韓国語入門	FLS111	2	選択	
	韓国語初級	FLS112	2	選択	
キャリア形成分野	キャリア形成論	CRR101	2	必修	社会人は必修から除外
	キャリアデザインⅠ	CRR201	2	必修	
	キャリアデザインⅡ	CRR202	2	必修	
	時事研究	CRR203	2	必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
キャリア形成分野	インターンシップ A	CRR204	1	選択	
	インターンシップ B	CRR205	1	選択	
	ホスピタリティ実習 A	CRR206	1	選択	
	ホスピタリティ実習 B	CRR207	1	選択	
	C G 演習	CRR208	2	選択	
	ビジネス数学入門	CRR209	2	選択	
	キャリアプランニング	CRR301	2	必修	社会人は必修から除外

2. 専門教育科目群：共通必修科目 8 単位、共通選択必修科目 6 単位以上、
主専攻コース必修／選択必修科目（グローバル英語コース：コース選択必修 20 単位以上、中国語・
中国文化コース：コース必修 28 単位、コース選択必修 8 単位以上、教員養成コース：コース選択必
修 20 単位以上、人文総合コース：コース必修 6 単位、コース選択必修 18 単位以上）

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
グローバル英語コース	Listening for TOEIC A	ENG101	2	選択	TOEIC 学内試験受験者 グローバル英語主専攻 選択必修科目
	Listening for TOEIC B	ENG102	2	選択	
	Reading for TOEIC A	ENG103	2	選択	
	Reading for TOEIC B	ENG104	2	選択	
	Reading Intermediate A	ENG201	2	選択必修	この中から 3 科目選択必修 (共通選択必修科目)
	Reading Intermediate B	ENG202	2	選択必修	
	Writing Intermediate A	ENG203	2	選択必修	
	Writing Intermediate B	ENG204	2	選択必修	
	Oral Communication Intermediate A	ENG205	2	選択必修	Upper: TOEIC350 以上
	Oral Communication Intermediate B	ENG206	2	選択必修	Intermediate: TOEIC350 未満
	Reading Upper A	ENG301	2	選択必修	Upper は グローバル英語主専攻 選択必修科目
	Reading Upper B	ENG302	2	選択必修	
	Writing Upper A	ENG303	2	選択必修	
	Writing Upper B	ENG304	2	選択必修	
	Oral Communication Upper A	ENG305	2	選択必修	Upper は Intermediate の代 わりに共通選択必修科目と して履修可
	Oral Communication Upper B	ENG306	2	選択必修	
	British Culture	ENG307	2	選択必修	
	World of English Literature	ENG308	2	選択必修	
	言語と異文化理解	ENG309	2	選択必修	グローバル英語主専攻 選択必修科目 TOEIC350 以上
	Public Speaking	ENG310	2	選択必修	
	Analyzing Student Conversations	ENG311	2	選択必修	
	Business Communication A	ENG312	2	選択必修	
	Business Communication B	ENG313	2	選択必修	
	Current Topics through YouTube	ENG314	2	選択必修	
	American Pop Culture	ENG401	2	選択必修	グローバル英語主専攻 選択必修科目 各科目 TOEIC スコアによる 履修の制限あり
	Multiculturalism	ENG403	2	選択必修	
	Japanese Society and Life	ENG404	2	選択必修	
	Contemporary Issues in Society	ENG405	2	選択必修	
	Discussion and Debate through Interactive Activities	ENG406	2	選択必修	グローバル英語主専攻 選択必修科目 「英語語法研究」は 春期集中講義 「英語学」は 秋期集中講義
	英語語法研究	ENG207	2	選択必修	
	英米小説論	ENG208	2	選択必修	
	英語圏の文学	ENG315	2	選択必修	
	英語学	ENG316	2	選択必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
中国語・中国文化コース	初級中国語 A	CHN101	2	必修	HSK2 級以上合格者は履修不可
	初級中国語 B	CHN102	2	必修	
	初級中国語会話演習 A	CHN103	1	必修	
	初級中国語会話演習 B	CHN104	1	必修	
	中国概論	CHN105	2	必修	
	中国思想と現代中国	CHN106	2	必修	
	HSK 文法対策	CHN107	2	選択必修	2 年次までに 4 単位以上修得。ただし、HSK 文法対策は 1 年次のみ履修可 HSK 当該級以上合格者は履修不可
	検定試験対策中国語講座 (HSK3 級)	CHN108	2	選択必修	
	検定試験対策中国語講座 (HSK4 級)	CHN202	2	選択必修	
	中国語視聴 I	CHN109	2	必修	HSK3 級以上合格者は履修不可
	異文化接触論	CHN201	2	必修	
	中国語視聴 II	CHN203	2	必修	HSK4 級以上合格者は履修不可
	中国語視聴 III	CHN204	2	必修	
	検定試験対策中国語講座 (HSK5 級・6 級) A	CHN205	2	選択必修	A～D のうち 4 単位以上修得。ただし、HSK6 級合格者は履修不可
	検定試験対策中国語講座 (HSK5 級・6 級) B	CHN301	2	選択必修	
	検定試験対策中国語講座 (HSK5 級・6 級) C	CHN206	2	選択必修	
	検定試験対策中国語講座 (HSK5 級・6 級) D	CHN302	2	選択必修	
	中国語講読	CHN207	2	必修	
	中級中国語 A	CHN208	2	選択	HSK5 級以上合格者は履修不可
	中級中国語 B	CHN209	2	選択	HSK5 級以上合格者は履修不可
	e-Tandem Learning 中国語 A	CHN210	2	選択	選抜クラス
	e-Tandem Learning 中国語 B	CHN211	2	選択	選抜クラス
	ホスピタリティ中国語 A	CHN212	2	必修	
	ホスピタリティ中国語 B	CHN213	2	必修	
	高級漢語写作 A	CHN305	2	必修	
	高級漢語写作 B	CHN306	2	必修	
	上級中国語 A	CHN303	2	選択	
	上級中国語 B	CHN304	2	選択	
	通訳中国語 A	CHN401	2	選択	
	通訳中国語 B	CHN402	2	選択	
	時事中国語 A	CHN403	2	選択	
	時事中国語 B	CHN404	2	選択	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
教員養成コース	教職概論	EDU101	2	選択必修	コース選択必修
	教育原論	EDU102	2	選択必修	
	教育の制度と経営（教育課程の意義及び編成を含む）	EDU103	2	選択必修	
	教育心理学	EDU104	2	選択必修	
	教育方法論	EDU105	2	選択必修	
	教育インターンシップ A	EDU106	2	選択	他コース履修不可
	教育インターンシップ B	EDU107	2	選択	
	ICT を活用した教育の理論と方法	EDU201	1	選択必修	他コース履修不可 /コース選択必修
	特別支援教育論	EDU202	2	選択必修	
	総合的な学習の時間の指導法および特別活動論	EDU203	2	選択必修	
	生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）	EDU204	2	選択必修	
	教育相談論（進路指導及びキャリア教育を含む）	EDU205	2	選択必修	
	道徳教育論	EDU206	2	選択必修	
	英語科教育法Ⅰ	EDU207	2	選択	他コース履修不可 /卒業要件に含めない科目
	英語科教育法Ⅱ	EDU208	2	選択	
	国語科教育法Ⅰ	EDU209	2	選択	
	国語科教育法Ⅱ	EDU210	2	選択	
	英語科教育法Ⅲ	EDU301	2	選択	
	英語科教育法Ⅳ	EDU302	2	選択	
	国語科教育法Ⅲ	EDU303	2	選択	
	国語科教育法Ⅳ	EDU304	2	選択	
	介護体験	EDU305	1	選択	
	教育研究 A	EDU306	2	選択	
	教育研究 B	EDU307	2	選択	
	教育実習事前事後指導	EDU401	1	選択	
	教育実習	EDU402	4	選択	
	教職実践演習（中・高）	EDU403	2	選択	
	書道 A	TED101	1	選択必修	コース選択必修 （人文総合と共通 ※「書道 A」「日本語概説」 「漢文学 A」「漢文学 B」は 教員養成コースのみ）
	日本古典文学史	TED201	2	選択必修	
	日本近現代文学史	TED202	2	選択必修	
	日本語概説	TED301	2	選択必修	
	漢文学 A	TED302	2	選択必修	
	漢文学 B	TED303	2	選択必修	
	日本語史	TED304	2	選択必修	
	日本古典文学演習 A	TED305	2	選択必修	
	日本古典文学演習 B	TED306	2	選択必修	
	日本古典文学演習 C	TED401	2	選択必修	
	日本古典文学演習 D	TED402	2	選択必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
教員養成コース	日本近現代文学演習 A	TED403	2	選択必修	コース選択必修 (人文総合と共通)
	日本近現代文学演習 B	TED404	2	選択必修	
	英語語法研究	TED203	2	選択必修	コース選択必修 (グローバル英語コースと共通)
	英米小説論	TED204	2	選択必修	
	欧米の文化	TED307	2	選択必修	
	英語学	TED308	2	選択必修	
	英語圏の文学	TED309	2	選択必修	

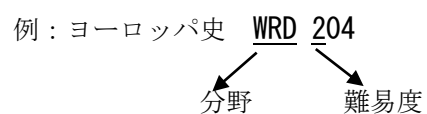
分野		科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
人文総合コース	人文総合分野	人文総合（基礎）	HUM101	2	必修	コース必修 令和7年度以降の入学者のみ
		人文総合（発展）	HUM201	2	必修	
		人文総合（実践）	HUM202	2	必修	
	表象文化分野	まんがと古典	REP101	2	選択必修	表象文化分野から3科目6単位以上 コース選択必修 欧米の文化は教員養成コース選択必修と共通
		映像で知る日本近現代文学	REP102	2	選択必修	
		日本のサブカルチャー（歴史と社会）	REP103	2	選択必修	
		日本のサブカルチャー（解釈と鑑賞）	REP104	2	選択必修	
		美術と日本文化	REP105	2	選択必修	
		現代ファッション論	REP106	2	選択必修	
		舞台芸術論	REP201	2	選択必修	
		欧米の文化	REP202	2	選択必修	
		映像文化論	REP203	2	選択必修	
		ポピュラーカルチャーと哲学	REP204	2	選択必修	
		日本近現代文学とメディア	REP301	2	選択必修	
	言語文化分野	言語学	LNG101	2	選択必修	言語文化分野から3科目6単位以上 コース選択必修 日本古典文学史、日本近現代文学史、日本古典文学演習A、同B、同C、同D、日本近現代文学演習A、同Bは教員養成コース選択必修と共通
		日本近現代文学に描かれた社会	LNG102	2	選択必修	
		くずし字を読む	LNG103	2	選択必修	
		和歌文学を読む	LNG201	2	選択必修	
		女流日記を読む	LNG202	2	選択必修	
		日本古典文学史	LNG203	2	選択必修	
		日本近現代文学史	LNG204	2	選択必修	
		随筆文学を読む	LNG301	2	選択必修	
		文学と日本文化	LNG302	2	選択必修	
		日本古典文学演習 A	LNG303	2	選択	
		日本古典文学演習 B	LNG304	2	選択	
		日本古典文学演習 C	LNG305	2	選択	
		日本古典文学演習 D	LNG306	2	必修	
		日本近現代文学演習 A	LNG307	2	必修	
		日本近現代文学演習 B	LNG308	2	必修	
	歴史文化分野	信長学	HIS101	2	選択必修	歴史文化分野から3科目6単位以上 コース選択必修 日本語史は教員養成コース選択必修と共通
		絵画で読む日本史 A	HIS102	2	選択必修	
		絵画で読む日本史 B	HIS103	2	選択必修	
		地域の歴史と文化遺産（小牧学）	HIS104	2	選択必修	
		地域の歴史と文化遺産（犬山学）	HIS105	2	選択必修	
		きもの・装束の世界	HIS106	2	選択必修	
		江戸の絵本を読む	HIS201	2	選択必修	
		戦国の伝記史料を読む	HIS301	2	選択必修	
		戦国の城・合戦・生活を読み解く	HIS302	2	選択必修	
		日本語史	HIS303	2	選択必修	
		日本仏教史	HIS304	2	選択必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
ゼミナール	アカデミアゼミ A	SEM301	2	必修	
	アカデミアゼミ B	SEM302	2	必修	
	アカデミアゼミ C	SEM401	2	必修	
	アカデミアゼミ D (卒業研究)	SEM402	2	必修	
	卒業論文	SEM403	2	選択	通年

注

コード番号の見方

科目の分野を表すアルファベットの後、100 の位の数字が 1 の科目は難易度が最も低く、4 の科目は最も高くなります（およそその配当年次に相当します）。難易度が低い科目の履修から始め、次第に難易度の高い科目に移っていく必要があります。



1. 必履修

語学研修は、必修・選択の別の欄に「必履修」と記載されています。語学研修は必ず履修して修了試験を受験しなければならない科目ですが、単位修得は必修ではありません。

2. その他

- ・「通年」と記載された科目は、1 年（＝2 セメスター）を通して授業が行なわれる科目です。
- ・「クォーター」と記載された科目はクォーター制を導入した科目です。
- ・「隔年開講」と記載された科目は、毎年ではなく 1 年おきに開講される科目です。
- ・教員免許状の取得については「2-30 教員養成プログラム」を熟読してください。
- ・「入門中国語 I」「同 II」「初級中国語 I」「同 II」を単位修得できなかった場合は、「入門中国語 I（リメディアル）」「同 II（リメディアル）」（春期夏季集中講義）、「初級中国語 I（リメディアル）」「同 II（リメディアル）」（秋期春季集中講義）を受講し、合格することにより単位（各 2 単位）を修得できます。I・II ともに未修得の場合は、I の単位修得とします。

【国際日本コース】

1. 教養教育科目群：必修科目 14 単位を含め 50 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
共通基盤分野	異文化コミュニケーション基礎論	BAS201	2	選択	GPA 選抜
	多文化共生基礎論	BAS202	2	選択	GPA 選抜
	ことばと人文学	BAS203	2	選択	GPA 選抜 2 年次生に限る
	ことばと多文化教育	BAS204	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	ことばとビジュアル	BAS205	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	ことばとネゴシエーション	BAS206	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
人間を探究する分野	食物・栄養学入門	HNM101	2	選択	GPA 選抜
	体育実技 A	HMN102	1	選択	
	体育実技 B	HMN103	1	選択	
	体育実技 E	HMN104	1	選択	
	体育実技 F	HMN105	1	選択	
	世界宗教の基礎知識	HMN201	2	選択	GPA 選抜
	音楽と社会	HNM202	2	選択	GPA 選抜
	マーケティングと消費者行動	HMN203	2	選択	GPA 選抜
	心理学入門	HMN204	2	選択	GPA 選抜
	コミュニケーション心理学	HMN205	2	選択	GPA 選抜
	社会心理学	HMN206	2	選択	GPA 選抜
	社会学	HMN207	2	選択	GPA 選抜
	ジェンダー論	HMN208	2	選択	GPA 選抜
	社会福祉論	HMN209	2	選択	GPA 選抜
	マルチメディアと社会 A	HMN210	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	マルチメディアと社会 B	HMN211	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	言語学入門	HNM212	2	選択	GPA 選抜
	言語学	HNM213	2	選択	GPA 選抜
	経済学入門	HMN301	2	選択	GPA 選抜
	経営学入門	HMN302	2	選択	GPA 選抜
	映像文化論	HMN303	2	選択	GPA 選抜
	舞台芸術論	HMN304	2	選択	GPA 選抜
多文化共生を探究する分野	東南アジアの歴史と文化 A	MUL101	2	選択	GPA 選抜
	東南アジアの歴史と文化 B	MUL102	2	選択	GPA 選抜
	中国地域研究	MUL103	2	選択	GPA 選抜
	韓国語入門	MUL104	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	韓国語初級	MUL105	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	中国思想と現代中国	MUL201	2	選択	GPA 選抜
	中国思想と世界	MUL202	2	選択	GPA 選抜

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
多文化共生を探究する分野	インドの歴史と文化	MUL203	2	選択	GPA 選抜
	アメリカ史	MUL204	2	選択	GPA 選抜
	ヨーロッパ史	MUL205	2	選択	GPA 選抜
	日本語音声学	MUL206	2	選択	GPA 選抜
	異文化接触論	MUL207	4	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	韓国の言語と文化	MUL208	2	選択	旧「韓国語Ⅲ」（令和２年度まで）「韓国語入門」（令和２年度までの入学者は「韓国語Ⅰ」）単位未修得者は履修不可
	韓国の言語と社会	MUL209	2	選択	旧「韓国語Ⅳ」（令和２年度まで）「韓国語入門」（令和２年度までの入学者は「韓国語Ⅰ」）単位未修得者は履修不可
	インド仏教史	MUL301	2	選択	GPA 選抜
	観光学	MUL302	2	選択	GPA 選抜
	観光文化論	MUL303	2	選択	GPA 選抜
	欧米の文化	MUL304	2	選択	GPA 選抜
	ポピュラーカルチャーと哲学	MUL305	2	選択	GPA 選抜
分 語 英	Basic English (for International Students)	ENG101	2	選択	
	Listening for TOEIC A	ENG201	2	選択	TOEIC 学内試験受験者
	Listening for TOEIC B	ENG202	2	選択	
	Reading for TOEIC A	ENG203	2	選択	
	Reading for TOEIC B	ENG204	2	選択	
	Reading & Writing for International Students	ENG205	2	選択	TOEIC 受験済の学生対象
	英語語法研究	ENG206	2	選択	N1 取得者
	英語圏の文学	ENG207	2	選択	
	英米小説論	ENG208	2	選択	
	英語学	ENG209	2	選択	
	Reading Upper A	ENG301	2	選択	TOEIC350 以上
	Reading Upper B	ENG302	2	選択	
	Writing Upper A	ENG303	2	選択	TOEIC350 以上
	Writing Upper B	ENG304	2	選択	
	Oral Communication Upper A	ENG305	2	選択	TOEIC350 以上
	Oral Communication Upper B	ENG306	2	選択	
	British Culture	ENG307	2	選択	TOEIC350 以上
	World of English Literature	ENG308	2	選択	
	Japanese Society and Life	ENG309	2	選択	TOEIC400 以上
	Public Speaking	ENG310	2	選択	
	Current Topics through YouTube	ENG311	2	選択	TOEIC350 以上
	Analyzing Student Conversations	ENG312	2	選択	
	American Pop Culture	ENG401	2	選択	TOEIC400 以上
	Multiculturalism	ENG403	2	選択	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
分 英 野 語	Contemporary Issues in Society	ENG404	2	選択	TOEIC400 以上
	Discussion and Debate through Interactive Activities	ENG405	2	選択	
中国語分野	教養中国語 A	CHN101	2	選択	中国語母語話者は履修不可
	教養中国語 B	CHN102	2	選択	中国語母語話者は履修不可
	検定試験対策中国語講座 (HSK2 級)	CHN103	2	選択	中国語母語話者は履修不可 科目名称に示された HSK の級以上の合格者は履修不可
	検定試験対策中国語講座 (HSK3 級)	CHN201	2	選択	中国語母語話者は履修不可 科目名称に示された HSK の級以上の合格者は履修不可
	検定試験対策中国語講座 (HSK4 級)	CHN202	2	選択	中国語母語話者は履修不可 科目名称に示された HSK の級以上の合格者は履修不可
	中級中国語 A	CHN203	2	選択	中国語母語話者および HSK5 級以上合格者は履修不可
	中級中国語 B	CHN204	2	選択	中国語母語話者および HSK5 級以上合格者は履修不可
	上級中国語 A	CHN301	2	選択	
	上級中国語 B	CHN302	2	選択	
	中国概論	CHN303	2	選択	
	通訳中国語 A	CHN401	2	選択	
	通訳中国語 B	CHN402	2	選択	
キャリア形成分野	キャリア形成論	CRR101	2	必修	
	情報基礎 A	CCR102	2	必修	
	情報基礎 B	CRR103	2	必修	
	キャリアデザイン I	CRR201	2	必修	
	キャリアデザイン II	CRR202	2	必修	
	インターンシップ A	CRR203	1	選択	
	インターンシップ B	CRR204	1	選択	
	ホスピタリティ実習 A	CRR205	1	選択	
	ホスピタリティ実習 B	CRR206	1	選択	
	CG 演習	CRR207	2	選択	JLPT N1 取得者のみ履修可
	キャリアプランニング I	CRR301	2	必修	
	キャリアプランニング II	CRR302	2	必修	

2. 専門教育科目群：必修科目 32 単位、選択必修科目 20 単位以上を含め、60 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
日本語分野	スタディスキルⅠ	JPL101	2	必修	
	スタディスキルⅡ	JPL102	2	必修	
	漢字を識る A	JPL103	2	選択必修	JLPT N2/N1 取得者履修不可
	漢字を識る B	JPL104	2	選択必修	
	日本語精読入門Ⅰ	JPL105	2	選択必修	
	日本語精読入門Ⅱ	JPL106	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（語彙・文法）A	JPL107	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（語彙・文法）B	JPL108	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（聴解・読解）A	JPL109	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（聴解・読解）B	JPL110	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（実践）A	JPL111	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（実践）B	JPL112	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（語彙・文法）A	JPL201	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（語彙・文法）B	JPL202	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（聴解・読解）A	JPL203	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（聴解・読解）B	JPL204	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（実践）A	JPL205	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（実践）B	JPL206	2	選択必修	
	日本語アカデミックライティング A	JPL207	2	必修	
	日本語アカデミックライティング B	JPL208	2	必修	
	日本語精読Ⅰ	JPL209	2	必修	
	日本語精読Ⅱ	JPL210	2	必修	
	日本語の語彙・表記 A	JPL211	2	選択必修	JLPT N2/N1 取得者のみ履修可
	日本語の語彙・表記 B	JPL212	2	選択必修	
	上級日本語 A	JPL301	2	選択必修	
	上級日本語 B	JPL302	2	選択必修	
	ディベート日本語 A	JPL303	2	選択必修	
	ディベート日本語 B	JPL304	2	選択必修	
	ビジネス日本語 A	JPL401	2	選択必修	
	ビジネス日本語 B	JPL402	2	選択必修	
	日本語翻訳 A	JPL403	2	選択必修	
	日本語翻訳 B	JPL404	2	選択必修	
日本文化分野	日本の歴史と文化 A	JPN101	2	必修	
	日本の歴史と文化 B	JPN102	2	必修	
	字と書を学ぶ A	JPN103	2	必修	
	字と書を学ぶ B	JPN104	2	必修	

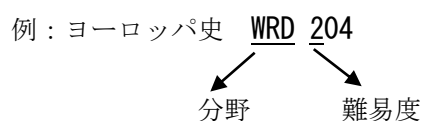
分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
日本文化分野	まんがと古典	JPN105	2	選択必修	JLPT N2/N1 取得者のみ履修可
	映像で知る日本近現代文学	JPN106	2	選択必修	
	絵画で読む日本史 A	JPN107	2	選択必修	
	絵画で読む日本史 B	JPN108	2	選択必修	
	地域の歴史と文化遺産（小牧学）	JPN201	2	選択必修	
	地域の歴史と文化遺産（犬山学）	JPN202	2	選択必修	
	くずし字を読む	JPN203	2	選択必修	
	日本近現代文学に描かれた社会	JPN204	2	選択必修	
	随筆文学を読む	JPN205	2	選択必修	
	日本古典文学史	JPN206	2	選択必修	
	日本近現代文学史	JPN207	2	選択必修	
	留学生のための地域文化探求 A	JPN301	2	必修	
	留学生のための地域文化探求 B	JPN302	2	必修	
	日本のサブカルチャー（歴史と社会）	JPN303	2	選択必修	JLPT N2/N1 取得者のみ履修可
	日本のサブカルチャー（解釈と鑑賞）	JPT304	2	選択必修	
	きもの・装束の世界	JPT305	2	選択必修	
	現代ファッション論	JPN306	2	選択必修	
	戦国の伝記史料を読む	JPN307	2	選択	
	戦国の城・合戦・生活を読み解く	JPN308	2	選択	
	日本仏教史	JPN309	2	選択	
	漢文学 A	JPN310	2	選択	
	漢文学 B	JPN311	2	選択	
	美術と日本文化	JPN312	2	選択必修	JLPT N2/N1 取得者のみ履修可
	文学と日本文化	JPN313	2	選択必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
ゼミナール	アカデミアゼミ A	SEM301	2	必修	
	アカデミアゼミ B	SEM302	2	必修	
	アカデミアゼミ C	SEM401	2	必修	
	アカデミアゼミ D（卒業研究）	SEM402	2	必修	
	卒業論文	SEM403	2	選択	通年

注：

1. コード番号の見方

科目の分野を表すアルファベットの後、100の位の数字が1の科目は難易度が最も低く、4の科目は最も高くなります（おおよその配当年次に相当します）。難易度が低い科目の履修から始め、次第に難易度の高い科目に移っていく必要があります。



2. ほとんどの科目には JLPT の N1、N2 の取得が必要であるため、履修の要件（備考欄やシラバス）を確認してから登録すること。